

*** UD タクシー乗車体験会 報告(2023 年度) ***

+++++

主催 認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワーク

共催 横浜市障害自立支援課

後援 関東運輸局 神奈川運輸支局

協力 神奈川県タクシー協会横浜支部

神奈川トヨタ自動車(株)



+++++

1. 開催の趣旨・目的

一人での移動・外出が困難な人や家族にとって、外出の手段は家族の送迎など極めて狭い選択肢しかありません。ユニバーサルデザイン化された公共交通としてのタクシー、自家用有償旅客運送に位置付けられた NPO などによる福祉有償運送は移動の選択肢になれるのか。大型車いすでの乗車やお一人での乗車体験をしていただくことで、不安を解消し、安心して外出いただける機会が広がればと思います。

乗車体験と同時に、安全な車両固定についても共有し、一層の安心につなげます。

2. 実施場所と日時

1) 鶴見会場

日時 2024 年 2 月 10 日(土) ①10~12 時 ②13~15 時

場所 障害者支援施設「希望」(横浜市鶴見区矢向 1-14-18)

2) 旭区会場

日時 2024 年 2 月 23 日(金・祝)10~12 時

場所 横浜市立左近山特別支援学校(横浜市旭区左近山1011)



鶴見区「希望」

3. 各会場の様子

● 2/10 障害者支援施設「希望」

快晴で多くの人が集まり、施設入居者や相談員も多数参加していただいた。

施設「希望」相談員は、日頃より重度障がいのある方(大きいサイズのバギーで移動する人)の外出に取り組んでいるため、実際の乗車場面を想定して車内サイズを測ったり、また、車両の固定器具の場所などを確認してもらうことで、どういった応用ができるのかなど確認できた。

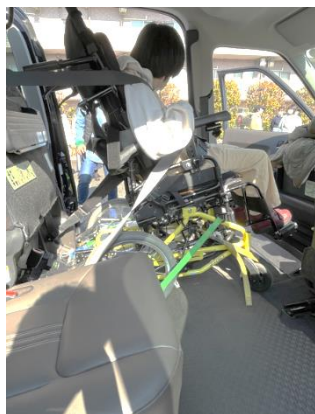
大き目サイズのバギー利用者にとっては、各車両に乗れたことで安心できたという声を多く頂いたと同時に、シートベルトのかけ方についても意見交換・共有できた。

実際に試していただくことで安心感を持ってもらえ、実利用にもつながったことは成果である。



▲会場となった駐車場
車いすユーザーも多く集まった

試乗は知的障がいのある方に一人乗車の経験をつくり「一人で乗れる」ことで自信を持っていただきたいと企画したが、非常に楽しそうで、降車後の笑顔が目的の達成を感じさせた。



- ▲(左)安定した固定、バギー車の大小によって固定に工夫がいることもある
- ▲(中央)軽自動車の福祉車両の車内が広くてびっくり、大型バギーも余裕をもって乗車できた
- ▲(左)フックはここにかける！



▲体験乗車で大喜び、自信につながった

▲車いす固定の様子を見たことがなかったので興味津々

➤ 参加者数 48人

内訳	人数	備考
当事者(うち家族)	33人(内8人)	知的・発達障がい児者、身体障がい児者
相談員等	11人	放課後児童デイ職員など
移動情報センターなど	4人	西区・港北区など
計	48人	

➤ 車両の提供

- トヨタジャパンタクシー(トヨタ自動車)
- セレナ e-パワー(アサヒタクシー)
- ダイハツハイジェット・軽福祉車両(NPO 法人鶴の仲間)

➤ アンケートより

- ・快適でした！ありがとうございます。
- ・どの車も乗れて良かった
- ・子ども達が楽しんで乗っていた
- ・息子は車が好きなので楽しんでました
タクシーにも5分間一人で乗れたので、利用に関して少し安心材料が出来ました。
- ・外出の機会が広がり、選択肢も広がり、ありがとうございました
- ・とてもスムーズに安全に乗れました
- ・町でなかなかタクシーが来ない、利用体験が聞けると思ったが残念だった

・セレナだったら乗れるので希望するが、ジャパントクシーは横乗りになるので避けたい。

今は福祉タクシーを使って少しでも安くなればと思って参加した

・放課後児童デイの送迎がなくなるので不安だったが、安心できた

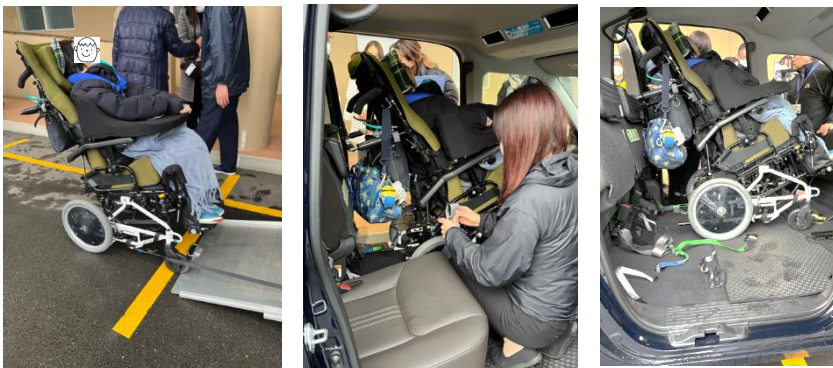
・タクシーに乗れることが分かって安心した。今後は利用できると思った。

●2/23 横浜市立左近山特別支援学校



横浜市立左近山特別支援学校

雪予報の中での開催でしたが、3名の大型バギーを使用されているお子さんやご家族、現場の支援相談員さんたちが参加されました。



▲バギー車の固定はそれぞれの構造で固定箇所が異なることもあるので
確実に固定できるように見極めることが大切

当事者のご家族は具体的に利用シーンをイメージしてのご質問も多く、固定の仕方・利用時のシートベルトのかけ方について確認したり、それぞれのバギーの形状についての留意点などを熱心に意見交換する場面もありました。

相談員さんからは、いろいろな利用者のニーズにタクシーが応えられるのか、紹介できる内容なのかという厳しい視点で見てもらえたことは、実利用に向けて貴重でした。



大型バギーを乗せる時は後ろにある▲グリップの長さが、うまく収まるかが微妙、工夫が必要な時もある

◀(左)ジャパントクシーは横から乗車
(右)セレナは後ろから乗車

➤ 参加者数 15 人

内訳	人数	備考
当事者(うち家族)	8人(内5人)	重度心身障がい児者
相談員等	2人	相談員など
移動情報センターなど	5人	旭区、瀬谷区など
計	15人	

➤ 車両の提供

トヨタジャパンタクシー(トヨタ自動車)

セレナ e-パワー(瀬谷交通)

ダイハツハイジェット・軽福祉車両(NPO 法人鶴の仲間)

➤ アンケートより

- ・自分が運転できないので、困ったときをお願いできると思いました。
- ・大型の車いすで、シートベルトなどのかけ方が複雑なので、今回注意点が分かって良かったです。
- ・UDタクシーについての詳細をお聞き出来たり、実際のサイズ感を知ることができました。想定よりも大きいサイズの車いすの乗車ができることが分かり、ご利用の方への情報提供の可能性を感じました。
- ・車メーカーの方、タクシー運転手の方、関係の皆様の実際の状況をお伺いしまして課題や実際利用の際に必要なことが分かり大変参考になりました。
- ・どなたでもお出かけが可能になるUDタクシーが周知され、障害のある方の生活や余暇の選択肢が広がっていくと良いですね。

4. まとめ

UD タクシー乗車体験会は 2018 年に開催し(会場:神奈川運輸支局)、それ以降はコロナ禍で開催を見送ってきた。日常的に大きなバギーを使用する医療的ケアの必要な人たちにとって、家族送迎以外の移動手段の確保は他と比較しても一層困難であるため、UD タクシーや NPO の福祉車に乗れるかどうかを確かめる場は貴重で、今回の開催は移動困難者の外出機会を増やすためにも、家族負担を軽減する意味でも、重要であったと思われる。

今後も移動の選択肢を増やすために、当事者家族や相談員など移動支援に関わる人たちにの参加を呼びかけ、また、タクシー事業者をはじめとした個別輸送に関わる NPO にも協力を依頼し、乗車体験会を継続して開催する必要性を強く感じた。



UDタクシーの便利さを実感

NPOが試乗会を企画

社会

矢向にある障害者支援施設「希望」でこのほど、ユニバーサルデザイン（UD）タクシーの車いす乗車体験などが行われた。東宝タクシー（株）＝鶴見中央＝が協力。

UDタクシーは広い車内空間や乗降口のスロープ設置など、車いす使用者やベビーカー利用の親子連れなどでも乗りやすく設計された車両。



車いすでの乗降を体験した

当日は、車いすの使用者がスロープを使って乗降したり、知的障害のある児童が1人で乗車して試走を体験した。

障害があっても外出しやすい社会の実現を目指して今回の体験会を企画した認定NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワークの清水弘子理事長は「試乗会などを通じて、より多くの方に利用してもらえるよう認知を高めていきたい」と語った。